



↑カメラの前でポーズする上村さん親子（造形展スタッフと）

## ★ 造形美術展、今回も大好評 最多の来場者 13 万人突破

10月19日から11月17日までの30日間にわたり開催された「第15回ながしま造形美術展」では、史上最多の13万3,509人が来場しました。

13日には、鹿児島市から親子で初めて来場した上村和孝さん一家が、来場10万人目となり、同展実行委員会から、長島の特産品が詰まった記念品が手渡されました。

上村さんは「妻の友達から造形展を教えてもらい、家族で行ってみようと思った。どの造形物も細部までこだわっていて驚いた。3人の子どもたちも喜んだ」と楽しんだ様子でした。

## ★ 水産業振興シンポジウム 養殖の新しい取り組みを学ぶ

11月1日、町開発総合センターで第10回水産業振興シンポジウムがありました。

「新しい養殖への取組」をテーマに3人の講師を招き、水産関係者など約200人が出席しました。

鹿児島大学水産学部海洋センターの加世堂照男氏は紅藻類のミリンやトサカノリの種苗生産や養殖技術の開発について講演し、出席した水産関係者らが新しい養殖の取り組みを学びました。



↑加世堂氏の講演のようす

青パト隊による交通安全パレードのようす↓



## ★ 地域の安心・安全を願い 青パト隊が町内をパトロール

10月1日、川床3A（石橋親信代表）による広報パレードが実施されました。

石橋代表は「高齢者による交通死亡事故が多発している。先頭に立って、地域の安心・安全をうながしましょう」とあいさつし、青色の回転灯をつけた車列が町内を巡回しました。